

『家族の会』活動で得た たくさんの出会いと気づき

講師：大野 教子 氏

(認知症の人と家族の会東京都支部代表)



『認知症の人と家族の会』では、家族の立場で介護の経験のある世話人方たちがボランティアで電話相談に応じ、コロナ下でも家族や本人のつどいを開き、その声に耳を傾け、いっしょに考えることを続けてこられました。

今回は、同会東京都支部で長年代表として仲間と共にご尽力されてきた、大野教子さんをお迎えし、その活動を通して得たたくさんの出会いや気づきについてお話を聞かせて頂きます。

現在、介護中の方も、また、家族やご本人に接する専門職の方も、様々な家族の体験や思い、視点を学ぶ大変貴重な機会です。ぜひご参加ください!!

日時：2024年2月17日(土) 9:50~12:00

Zoom配信

定員：40名

参加費：一般2,000円 家族介護者(非専門職)、当NPO会員 1,000円

申込方法：当会HPより、申込フォームにてお申し込みください。

要事前
申込み

URL：<https://www.pcdc.or.jp/appli2/>

*セミナー録画映像を後日視聴頂くこともできます(視聴期間：5日間)。

お申込み時に、**当日zoom参加/ 後日録画視聴**のいずれかをご選択下さい。

*参加費は、指定口座に事前にお振込みをお願いいたします。

問合せ先：E-mail：kensyu@pcdc.or.jp Tel:080-2025-7416

後援：日本認知症ケア学会 認知症の人と家族の会東京都支部
(認知症ケア専門士2単位)



講師紹介

大野教子氏（認知症の人と家族の会東京都支部代表）

- ・1974年、上智大学文学部教育学科卒業
- ・知的障害児通園施設勤務を経て結婚、専業主婦に
- ・1995年から4年間、認知症の義母を在宅介護
- ・（その後、18年間遠距離介護し、6年前に看取り）
- ・1999年、「家族の会」東京都支部の世話人となる
- ・2011年から現在まで、同支部代表として活躍



認知症の人と家族の会の活動の紹介

「家族の会」は全国47都道府県に支部があり、本部（京都市）と協力しながら様々な事業を実施しています。

☆つどい

つどいは活動の三本柱の一つです。つどいに参加することで「自分は一人じゃない、仲間がいる」と知ることが出来ます。全国で様々なつどいが開催され、介護者・本人が交流しています。

◎介護家族のつどい～他の人の介護体験を聞いたり、自分の介護体験を話すことで、心の負担が軽くなります。

◎本人・若年のつどい～認知症の人本人があつまり、自分の状況や悩み、生活の様子を話し合います。そして仲間とのつながりが、生きる勇気につながります。

◎男性介護者のつどい～介護は、広い意味での「家事」とも言えます。食事、清掃、身の回りのことに不慣れな男性は、特に負担感を大きく感じます。また、人に頼らず抱え込む傾向があるといわれています。同じ男性同士、悩みを語り合います。

☆電話相談

全国を対象としたフリーダイヤルと、すべての都道府県で電話相談を実施しています。

*フリーダイヤル(全国対象)0120-294-456 10:00～15:00(土日祝、夏季・年末年始除く)携帯・スマホから050-5358-6578(通話料有料)

*支部による電話相談 東京都支部 03-5367-2339 (火・金、10時～15時)

☆会報の発行

◎会報(本部)全ての会員の方に、毎月会報「ぼ～れば～れ」をお送りしています。

「本人と家族と社会をつなぎ 勇気を与える」をモットーに、1980年から毎月発行し、2022年3月で500号を迎えました。

◎会報(東京都支部)『「きずな」』

☆世界アルツハイマーデー～1994年「国際アルツハイマー病協会」(ADI)は、世界保健機関(WHO)と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、この日を中心にアルツハイマー病の啓蒙を実施しています。また、わが国でもポスターやリーフレットを作成して、認知症への理解を呼びかけ、全国の支部が一斉に街頭での宣伝活動をしたり、「世界アルツハイマーデー 記念講演会」などを開催しています。

☆全国研修集会、認知症研修講座、提言・要望、国際交流ほか

(認知症の人と家族の会ホームページより転載:<http://alzheimer.or.jp/>)